

令和7年度「脱炭素社会の実現に向けた本市の取組に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

本アンケートで、脱炭素社会の実現に向けた本市の取組に対する市民の皆様の考え方を具体的に把握することができ、大変参考になりました。

特に、脱炭素化の取組における課題として、「環境面でどれだけ効果があるのかわからない」という回答が最も多かったことから、今後は脱炭素の取組のメリットに加えて、ライフサイクルでの二酸化炭素排出量の削減などの環境への効果をしっかり発信することが重要であり、本アンケートの結果を、本市の脱炭素に関する取組を検討する際の参考資料として活用させていただきます。

2 アンケートを実施した感想

本市は、国に先駆けて 2050 年の脱炭素社会の実現を掲げ、国よりも高い目標である「2030 年度温室効果ガス排出 50% 削減（2013 年度比）」を目指し、全国で初めて公道上に電気自動車用急速充電器を設置する取組や、公共施設の LED 化・太陽光発電設備の率先導入の取組など、さまざまな施策を進めています。

この取組について、Q11 で質問したところ、「国より高い目標を掲げ、先進的に取り組むのが良い」と回答した方が 48.8% と最も多く、本市が脱炭素の取組を引き続き進めていくことの重要性が示されました。

一方で、Q5 では「本市の取組を知らない」と回答した方が 11.5%、Q4 では「情報が不足している」と回答した方が 45.9% の結果から、情報提供の工夫が必要であることも確認できました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

ヨコハマ e アンケートにご協力いただきありがとうございました。
自由記入欄でも様々な意見をいただくことができ、大変参考になりました。
今後も、市民の皆様のニーズに応えていけるよう、努めていきます。

担当：脱炭素・GREEN × EXPO 推進局脱炭素マネジメント課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。